

広島ヘリポートに係る指定管理者の候補者の選定について

空港振興課

広島ヘリポートの指定管理者について、広島県指定管理者選定委員会ヘリポート部会（以下「ヘリポート部会」という。）での審査を踏まえ、指定管理者の候補者を次のとおり選定した。

1 指定管理者候補者

候補者	日本空港コンサルタンツ・大成有楽不動産連合体
代表者	株式会社日本空港コンサルタンツ 代表取締役社長 池上 正春
住所	東京都中央区勝どき一丁目13番1号
指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日（予定）
申請提案額	723,438千円（予定）

【選定理由】

ヘリポート部会において、応募者から提出された事業計画書など、提案内容を審査基準に基づき審査を行った。

その結果、重点項目とした「維持管理水準の妥当性」及び「申請者の経営状況・信頼性」において、

- ① 経験豊富なスタッフを配置し、施設の維持管理や災害対応が適切に行える体制の確保
- ② これまでの国の定期検査等で大きな指摘を受けることなく維持管理してきた実績
- ③ 緊急時や災害時など不測の事態を想定したバックアップ体制の確保

などが、優れていると評価された。

2 施設の概要

所在地	広島市西区観音新町四丁目
施設の設置目的	航空運送の用に供することにより、県民の安全の確保及び利便性の向上を図る。
現指定管理者	日本空港コンサルタンツ・大成有楽不動産連合体

3 応募者

応募者名	所在地	代表者名
日本空港コンサルタンツ・大成有楽不動産連合体	東京都中央区勝どき一丁目13番1号	池上 正春
株式会社日本空港コンサルタンツ	東京都中央区勝どき一丁目13番1号	池上 正春
大成有楽不動産株式会社	東京都中央区京橋三丁目13番1号	浜中 裕之

4 広島ヘリポート指定管理者選定状況

(1) ヘリポート部会委員

部会長	栗根 麻衣子（広島県土木建築局空港振興課長）	
委員	上落	孝文（広島市消防局警防部警防課消防航空担当課長）
	親泊	健（親泊健公認会計士事務所 公認会計士）
	竹邊	滋（広島国際空港株式会社運用本部施設管理一部部長補佐）
	林田	大地（広島市道路交通局公共交通政策部公共交通調整担当課長）
	吉田	泰子（吉田泰子社会保険労務士事務所 社会保険労務士） ※ 委員の順番は50音順

(2) 審査基準及び結果等

施設の設置目的の達成を図る観点から、「ウ 維持管理水準の妥当性」及び「エ 申請者の経営状況・信頼性」に重点をおいて審査を行った。

審査基準	審査の項目	配点 ウエイト	応募者 (※応募者名は 3のとおり)	評価及び選定理由
ア 利用者サービスの向上・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して平等かつ公平にサービスが提供されるか ・利用者の利便性に配慮したものか ・施設及び付属設備の利用について円滑に管理運営されるか ・利用者等からの要望や苦情等への的確な対応ができるか ・利用者の安全対策が取られているか（緊急時の避難体制を含む） ・個人情報の取扱いが適切に行われるか 	15	11.0	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客の満足度や要求・要望を定期的に調査し対応することで、サービスの向上が図れるようになっている点が評価された。 ○本県の特異性でもある海外要人の使用に関するノウハウの保有が評価された。
イ 利用促進、新たなイベント提案	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況等の目標設定は適切かつ現実的か ・利用促進を図るための取組がなされているか ・施設の効用発揮のための魅力的な提案がなされているか ・航空行政への協力等に対する考え方はどうか ・特定の者等に有利な利用とならないか 	10	7.3	<ul style="list-style-type: none"> ○質の高い航空情報の提供などにより顧客満足度を高め、利用促進を図ることとしており、これまでの実績においても顧客満足度が高いことが評価された。 ○新型コロナの影響により中止・縮小していた見学者の受入れや広報活動など、利用促進に積極的に取り組んでいく姿勢が評価された。

審査基準	審査の項目	配点 ウエイト	応募者 (※応募者名は 3のとおり)	評価及び選定理由
ウ 維持管理水準の 妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・航空保安対策や災害時等の対応が適切に行われるか ・施設の修繕等に関する取組は適切か ・清掃等は仕様書基準を満たしているか ・巡回警備、日常点検等の点検診断及び設備・機器の保守点検は、仕様書基準を満たしているか ・管理水準の維持・向上を図るための効果的な提案がなされているか ・指定期間当初から円滑に業務を実施できる知識・経験等を有しているか 	20	16.0	<ul style="list-style-type: none"> ○経験豊富なスタッフを配置し、施設の維持管理や災害対応が適切に行える体制が整っていること、また、災害時の動員など現実的な提案がされている点などが評価された。 ○これまで、国の定期検査等で大きな指摘を受けることなく維持管理してきた実績が評価された。
エ 申請者の経営状 況・信頼性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の執行体制（安全管理・労災）が安定し、配置数は適正か ・障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく法定雇用率を達成しているか ・責任者の常駐の有無等、責任体制は確保されているか ・有資格者、経験者の配置状況は適切か ・業務や安全管理等に対する職員研修等の充実度はどうか ・再委託を行う場合の内容及び委託先は適切か ・グループの場合、責任・役割分担は適切か ・不測の事態への対応（保険等）はどうか ・財務状況は健全か（グループの場合、構成員全てにおいて） 	20	13.3	<ul style="list-style-type: none"> ○財務状況に特段の懸念はなく、有資格者・実務経験者の配置など、安定的かつ高品質な業務が行える体制を確保している点などが評価された。 ○人員配置が適切であり、かつ、不測の事態を想定したバックアップ体制を確保している点が評価された。

審査基準	審査の項目	配点 ウエイト	応募者 (※応募者名は 3のとおり)	評価及び選定理由
オ 申請者の取組姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の目的・公共性の理解度はどうか ・地域や関係団体等との連携体制が取れるか ・事業計画やプレゼンにおける申請者の取組姿勢はどうか 	15	12.5	<p>○他の公共ヘリポートの管理運営実績もあり、施設の目的・公共性への理解度も高く、自ら主体性をもって取り組んでいる姿勢が高く評価された。</p> <p>○施設の公共性に配慮した上で、地域や関係団体との連携に取り組む姿勢が評価された。</p>
カ 申請提案額（金額評価）	<p>最低提案額/申請提案額×10 (※ 小数点第1位まで求める。小数第2位切捨て) (指定管理期間の全体額（5年間分を合算）) なお、申請者の提案額が、管理費用基準額を上回る場合は失格</p>	10	10.0	<p>○提案額は、管理費用基準額の範囲内であった。</p> <p>○管理費用基準額：723,459千円 申請提案額：723,438千円</p>
キ 申請提案額の実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・申請提案額と事業計画は整合しているか ・経費の効率化の方策の内容はどうか 	10	7.7	<p>○これまでの管理実績を踏まえた詳細な積み上げがされており、実現性は高いと評価された。</p> <p>○様々なコストが上昇している中、他施設との物品の共同購入など、現実的で実現性の高い経費削減策が提案されている点が評価された。</p>
合計点数		100	77.8	

※本結果は、6名の委員の平均点によるものである。